

フォー

～（女性建築士の輪）～

奈良県建築士会 女性委員会
2009年 9月号
第60号



古代歴史博物館
(鳥根県出雲市)
設計：楳 文彦

目次

平成 21 年全国女性建築士連絡協議会（長野大会）参加報告	安田 千鶴代	1 ページ
松江・出雲路建物見学ツアー に参加して	岩城 由里子	2 ページ
最近の仕事から(2) “コスト設計にこだわって”	岡田 伸子	4 ページ
部会便り		6 ページ
アンケート結果の報告		7 ページ
今後の事業予定及び参加のお願い		7 ページ

平成 21 年全国女性建築士連絡協議会(長野大会)

参加報告

「地域と共生する住環境づくり」

～ 建築における「環(WA)」を考える～

女性委員会委員長 安田千鶴代



7月17日
「パネディスカ
ッション」の風景

全国女性建築士連絡協議会は、平成 2 年東京開催から今年で 20 回目を迎えました。その間、建築士として、また生活者である女性の視点から高齢社会問題や健康住宅問題、住居環境を考え提案し、今年度は林産県である長野で循環する材料「木」をサブテーマとして建築士 422 名の参加により 7 月 17 日～18 日開催されました。

当日は、長野地域が早朝からの大雨の影響で JR の運転停止区間が発生し 2 時間程度の遅れが生じ委員長会議終了間際に滑り込む等アクシデントはありましたが協議会は滞り無く開催されました。さすが林産県長野。JR の車窓から望む山の緑は、たとえ様も無く美しく心が浄化される想いがしました。

奈良県女性委員会からは、委員長、副委員長(杉田・山本)近建女担当(本保)の 4 名が参加しました。近年大会参加人数が他県の参加人数に比べ少ない事が残念でも有り委員長の力量について責任を感じております。



7月17日
「開会式」

1 日目は、長野冬季オリンピック、スケート大会開催会場ビックハット隣接の若里市民文化ホールで女性建築士が一堂に会し全体会議が開催されました。開会式後、長野県が推進する「ふるさと信州・環(WA)」を考えるについて工学院大学工学部建築学科教授：吉田倬郎氏による基調講演に続き 建築における「環」と「産・官・学・民」のネットワーク と題して活発なパネルディスカッションがなされました。

2 日目は長野市生涯学習センターに場所を移し 4 人の参加者が別々に各分科会に参加しました。(これらの分科会報告は、後日協議会よりまとめて文章で発表の予定) 私の参加した A 分科会：「環境型社会」では、昨日のパネラ - 高木直樹：信州大学・工学部・建築学科教授(長野士会員)がコメンテーターとして氏の現在の研究課題、都市域での住環境の把握について大学での授業(都市・地域環境計測他)や学生の研究などを含めてスライドによる進行となりました。地方都市(長野市)における気象調査及びクリマアトラス「実測した気温、風向・風速などのデータを地図上に表示し地域の微気象 = 温度変化をグラフに表し検討、改善作を提案」を作成。交通が都市域に与える騒音、大気汚染等の影響調査発表。公共投資の削減による既存の施設、インフラを出来るだけ有効利用し郊外の開発を抑え中心部に再度戻ろう。今後縮小する地方行政の中で効率的な経営をどのように実現するか現状を市民にわかり易く伝え住民参加、住民意識の確認に努めまちづくりを行うために民間、行政、研究機関の連携が必要であるとの研究報告がなされました。

次に京都府女性委員会から庵我小学校での今年で 3 回目の地域実践活動：出前講座「環境ストーリー森の成り立ち」の発表。成果として絵本<ぼくの ふしぎないちにち>が配布されました。

関心のある方は、事務局の女性委員会資料関係棚をご覧下さい。以上の発表から建築士として「循環型社会」において果たせる役割について意見交換が 4 ブロックに分かれて発表され、職能を生かした提案やサポートが出来る団体としての建築士会を官、民に再認識してもらうことに努めるなど、多くの意見が参加から発表されました。



7月17日
G 分科会
「高齢社会」の風景
(杉田さん参加)

分科会終了後、分科会報告～全体総評、平成 21 年 10 月 16 日開催の山形全国大会 PR と続き、無事閉会式を迎えました。



7月18日 全体会前に集合写真

協議会終了後、参加者全員で信州そばの昼食に満足。安田、本保 2 名は、小布施町の葛飾北斎直筆：八方睨み鳳凰図の天井絵が有る岩松寺へ。この寺には、小林一茶が「痩せ蛙、負けるな一茶此処にあり」と詠んだ池があり天井絵を満喫した後池をながめて蛙（蝦蟇蛙だそうです）でいっぱい池を想像して少々気分が悪くなったのは、私だけでしょうか？

続いて、北斎記念館見学、栗の木煉瓦（ピンコロ形状）を敷き詰めた歩道を歩いて 7 月 15 日オープンの小布施町立図書館（NASCA:古谷誠章設計）の見学。一路帰路に着きました。



小布施町立図書館

女性委員会の皆さん、全国の女性委員会は、熱く活動しています。平成 23 年 7 月は、京都士会での協議会となります。また同年、平成 23 年 10 月には全国大会が大阪で開催される事に伴い近畿は、大変な騒ぎになりそうです。皆様のご協力をお願いします。

松江・出雲路建物見学ツアーに参加して

岩城由里子

去る 6 月 20 日・21 日、「松江・出雲路建物見学ツアー」に参加しました。早朝バスで奈良を出発し中国道・米子道を通り、途中蒜山高原サービスエリアでは牛乳プリンを頬張り、大山を横目で見ながら、安来市の「和鋼博物館」（宮脇檀氏設計）に到着しました。

この地方は良質の砂鉄の産地で古くからたたら製鉄の盛んな地方だったそうで、この和鋼博物館では「たたら」の製法や歴史を学ぶことができました。



和鋼博物館

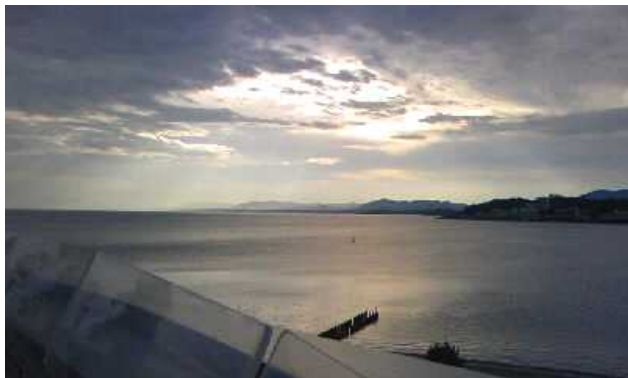
そのあと、同じく安来市にある足立美術館に行きました。足立美術館は横山大観をはじめとする日本画の数々や陶芸品、そして世界一を誇る庭園が有名です。学芸員の方から大観の作品を前に、画にまつわるエピソードをお聞きすることが出来ました。



足立美術館

安来をあとに松江方面に向かいました。松江城周辺を散策し、松平不味公ゆかりの茶室（明明庵）を見学させていただきました。そのあと島根県立美術館（菊竹清訓氏設計）に行きました。島根県立美術館はこの季節、宍道湖に沈む夕日を望むことが出来るため、来館時間を日没後までに設定されているそうです。この

日は、曇間から差し込む夕日が水面を銀色に神々しく光らせ、「神々の国 島根」に相応しい光景をみることが出来ました。



島根県立美術館 夕日の沈む宍道湖を望む



明明庵の斬新なデザインの飛び石 手銭博物館にあった朝鮮型灯籠

その日は松江の宿に泊まりました。夕食には、サザエのつぼ焼きや松江牛のすき焼きなど、地元の名産物を頂きました。お酒もすすみ気分も和らぎ、松江の街へと繰り出していきました。

翌日は朝から出雲大社を参拝しました。本殿は 60 年ぶりの「平成の大遷宮」の工事中で見ることが出来ませんでした。



出雲大社

次に、出雲大社の隣にある「古代歴史博物館」(楨文彦氏設計)に行きました。長いアプローチは神殿の階段をイメージしているそうです。中には 2000 年に発掘された宇豆柱が展示されていました。宇豆柱は 3 本の柱を金輪でまとめて 1 本の柱にしたもので、継ぎ部分をずらすことにより、より高い柱を作ることができたことが想像できます。



古代歴史博物館

そのあと、手銭記念館、大社プレイス、出雲文化伝承館と足早に移動しました。文化伝承館では出雲蕎麦処で昼食をいただき、中村昌生氏の設計の松籟亭で抹茶とお菓子を頂きました。



出雲様式の平造り枯山水回遊式庭園



不味公好みのひょうたんの型を切り抜いた無双窓(松籟亭)

抹茶の席で説明をお聞きしたあと、2 班に分かれて隣接する独楽庵を見学しました。中には3席の茶室があり路地も3つあります。低くそして薄い軒端の外観はとても洒落ていて、路地の緑の中の侘びを感じるたずまいがとても風流でした。

中に上がらせていただくと、外の緑がまぶしいばかりに目に飛び込んできました。この季節、外の鮮やかな緑を室内から眺めることので、より茶室内の暗さや静寂さを感じることができるようになりました。



独楽庵 千利休席

帰りのバスでは映画「かあべえ」を見ました。「かあべえ」は吉永小百合主演の戦争中のとても悲しい映画でした。最後に行った島根ワイナリーから飲み始め、焼酎片手に大騒ぎをしていた面々も黙って涙を流していました。

この二日間、沢山の建築物に触れ、庭や茶室を拝見し、島根の地を堪能し多くのことを発見しました。庭園をみるのが好きなので、珍しい灯籠を見たり 地方独特の庭の様式や風情を見ることができ、個人的には庭三昧が出来ました。とても充実して楽しかったです。

幹事の皆様には大変お世話になりました。本当に有難うございました。



最近の仕事から(2)

“コスト設計にこだわって”

岡田伸子

T店舗付き住宅は、鉄骨造4階建て・建築面積223.17㎡・延べ面積705.91㎡で、用途は店舗・事務所付3世代住宅です。写真は3階建てに見えますが、道路斜線制限内の屋根の中に、3世代の思い出の品々を収納する蔵があります。

平成18年秋に設計依頼を受け、平成20年1月工事着工、平成20年9月に竣工しました。建築場所は駅前商店街の中、駅前再開発に伴い大正時代からの木造店舗付き住宅を建替えることになりました。また、駅をはさんで反対側に20年前に設計監理した同施主のビルは立ち退くこととなりました。ビル跡地の引き渡し日はすでに決定しており、工事期間中の仮設舗として利用、3世帯の仮住まいのため移転等々、工程は限りなく複雑で工事期間の延長は絶対に許されないものでした。

工事着手日から逆算すれば、入札等に必要の日数を加えても、確認申請は10月に下りれば間に合います。しかし、思い起こすと、とんでもない時期に遭遇したものです。平成19年6月20日施行の改正建築基準法により、鉄骨構造4階建ての建物は構造計算適合性判定を受けなければならなくなったのです。当時は確認検査機関も改正内容を正確に把握しておらず右往左往、確認はいつ下りるか予側がつかないといった情報が飛び交いました。事実、後になってそれは現実となり、多くの仕事に支障をきたした様です。ともかく6月末には確認申請を提出しておくことにしました。

しかし、施主の要望が日々変化する中で、基本計画も十分煮詰まっていない段階での提出は危険きわまりないものでした。構造に関して少しでも変更があれば一からやり直し、その時は判定が発生してしまうのです。施主にはそんな話は通じません。ともかく入札にこぎつけ業者が決定しいよいよ工事が始まると、すぐ問題発生。解体後当地でボーリング調査をやり直すと、近隣で行ったデータよりかなり悪いことが判明、杭地業工事の変更が必要となりました。「構造変更だから判定にもどって」などは聞けるわけがありません。工事続行のためまさに必死で膝詰め談判、なんとか説得成功でした。

こんなことを長々と書いていて本題と違うことに気が付きました。フープの原稿は4回シリーズ、とりわけネタのない私は、仕事についての“こだわり”をテーマに書くしかないと考え引き受けました。この仕事の“こだわり”は“コスト”です。

コスト設計を追及、無駄な工事費を発生させないこと。

空調を始め、床暖は電気かガスか、照明計画にLEDを採用等々、設備についてはイニシャルコストとランニングコストの検討を行うこと

梁貫通補強箇所を減らすための配管計画の再検討。エレベーターの定期点検費用のチェック。

材料選びはいくつかのメーカーからサンプルを取り寄せ、コストと価値が見合っているものを選択する。

将来のため、環境配慮に関してライフサイクルコストの考え方を重視する。

工事に入っては現場打ち合わせ会議を充実させ、工程表通りに進行させること。

材料仕入れに当たっては、設計事務所、業者共情報を集めグロスで入手する等、より安く購入する努力をする。これは物づくりをするものの今後の課題であると思いました。

解体するビルおよび大正時代の建物から価値あるものは最大限生かして再利用する。手間のかかることは避けようとする業者にその意義を理解してもらう努力も監理者の仕事です。

等々思い出しながら順序不同に書きあげましたが、当時はもっと色々考えた気がします。施主は一級建築士で長くゼネコンにいた方で、コストに対する取り組みは半端でなく、ずい分勉強させていただきました。

確認を急いだため構造計画についてコスト設計が出来ていなかったことが最初に責められました。2階・3階は住宅で玄関廻りのスラブ高低差・浴室はバリアフリーを希望通りにすると梁材が無駄にすることが判明、3階以上の共同住宅は中間検査の対象建築物に加えられており、対応?に苦労しました。

環境配慮については、前向きに取り組むことが出来、その意味では楽しい現場でした。最近は太陽光発電を設置するケースが時々あります。この建物では東西面で太陽の光を受けることになり若干不利ですが、西面に35枚のモジュールを設置6013W、東面には60枚

で10545W、こんなに多く載せたのは始めてです。メーカーはシャープ、三洋、京セラから各々説明を聞き比較検討しました。結局京セラがドームを持っているなど根拠にもならない理由で選んで苦笑しました。補助金導入可能な時期を待つより、足場費用を考慮すれば、同時に工事する方が良いとふんぎりをつけました。公の補助金利用はいつもままならないものです。屋上緑化も36㎡程度行いました。スクエアターフLight(共同カイトック)を採用、高麗芝を植え、土壌コンテナ、貯水トレー、かん水パイプを設備しています。また、勾配屋根の雨水を天水尊に集め水やりに利用する試みもしました。この建物は親から商売を引き継ぎ、子孫に継承していく家族の根拠地であり、建物に対するエコの取り組みは次世代の有様をしっかりと見据えたものとなり、コストを考えるとこのようなものだと言われ学びました。



ファサード 夕景



2F 食堂・居間



3F 食堂・吹抜



4階 屋上

部 会 便 り

茶室勉強部会活動報告

平成 22 年平成遷都 1300 年祭交流ホール展示参加
(平成 22 年 7 月 1 日～3 日の 3 日間の予定)

奈良県に於いて平成 22 年 1 月 1 日から 12 月 31 日遷都 1300 年を記念して県下一斉に会場を設けて記念行事が開催されます。この記念事業に記念事業協議会から県土木部建築課を通じて建築士会に展示参加の協力依頼が有りました。会場は、平城宮跡会場交流ホール(仮設ホール)、ホール展示は、建築士会と建築家協会、宅建業界の三団体。建築士会コーナーでは、女性委員会と青年部会、橿原支部(今井町伝建地区)の展示を予定しております。女性委員会のテーマは、遣唐使：空海による茶の文化を伝えと題し今までの大和茶室のパネル展示、女性委員会編集発行の大和探訪、の販売、会場でのお手前による喫茶等予定。期間も厳しく部会員も少ないため皆様のご協力をお願いします。

茶室勉強部会会長は、委員長が兼務します。「この機会に部会に参加します」という委員会員の申し出をお待ちします。(参加申し込みは安田まで)

詳細につきましては 9 月に 3 団体が揃って第 1 回打合せ会議の予定です。

茶室勉強部会長：安田千鶴代

ユニバーサルデザイン(UD)部会

ユニバーサルデザイン部会 山本規子

* 平成 21 年度活動計画

一昨年より行なってきた、小学校 UD チェックシート作成を今年度で締め、調査した学校のデータをまとめる。行政に対して、改修等の参考になるものを作成していることをアピールできるような内容にする。

8 月 4 日に 奈良学園(大和郡山)の見学を行いました。建物だけでなく、生徒が学習の一環として設計に携わった「スクールプロジェクト」も大変興味深いものでした。詳しくは、次回のフープで紹介します。



* 部会員を募っています。月 1 回の割合で、部会や見学会を開いています。お試し参加も歓迎しますので、お問い合わせは、建築士会 事務局まで。

アンケート結果の報告

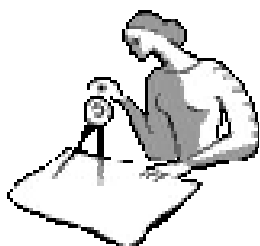
前号に添付しましたアンケートに寄せられたご意見を
紹介いたします。

仕事をしている中で困っている事・悩んでいる事
女性委員会にサポートして欲しい事
女性委員会に望む事
その他

- ・ 法改正に伴う新しい法律を把握できていない。
- ・ 手書きパースが中々描けないが、手書きパースは有効なのか悩んでいる。時々単発的に講習会を開いて欲しい
- ・ 勉強部会に参加したいが休みが取れず行けない。時々夜にもして欲しい (PM6:30~とか)
- ・ 日曜日に勉強会を開いて欲しい (休みが日曜しかない。)
- ・ 夜のセミナー、休日の勉強会が増えればよい。
- ・ 瑕疵担保責任保険制度や重要事項説明等、造り手側の責任のウェイトがますます大きくなっていく実感がする。

女性委員会より

今回のアンケートの中で夜及び休日の勉強会等の要望は、働く女性として、自分の自由になる時間を削ってでも 自分磨きがしたい女性の思いが出ている意見だと思えます。一方子育て中の女性にとっては、休日こそ家族から離れられないというのも実情です。夜に集まりが悪いという現況もあり、委員会でも悩むところではあります。



平成 21 年度の事業予定

- 9月13日(日)
二級建築士製図試験
- 10月11日(日)
一級・木造建築士製図試験
- 10月16日(金)~17日(土)
建築士会全国大会 山形
- 10月24日(土)
近建女合同見学会 滋賀
- 11月21日(土)
近畿建築祭 和歌山
- 11月26日(木)
定期講習会(平成21年第3回目)
広域地場産業振興センター

参加のお願い

- 平成 21 年度近建女合同見学会への参加をお願いします。
(平成 21 年 10 月 24 日(土) 滋賀)
- ・ 滋賀県近江八幡市堀水郷めぐり
(昼食は船上で近江牛のすき焼き)
 - ・ かわらミュージアム見学

平成遷都 1300 年祭に合せ今年は 奈良担当を滋賀さんに代わって頂きました。一人でも多くの参加申し込みをお願いします。参加申し込みは 土会事務局までお電話又は FAX をお願いします。
(詳しくは別添チラシ参照)

女性委員会委員長 安田千鶴代

編集後記

梅雨入りも梅雨明けもはっきりしなかった今年の夏ももうすぐ終わりですが、皆様健康管理はいかがででしょうか？ それにしても フープを担当して感じるのは原稿のお願いを快く引き受けてくださる執筆者の方々。皆様お忙しいであろうに…… そして建築に真摯に向き合う姿勢を教えていただくようで、身が引締まる思いです。本当にありがとうございます (安井ひとみ)